



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 25-07

2月号

発行 2023年2月16日

Chartered 1998

会長 山本 剛史郎
副会長 松川 厚子
会計 吉田 公代
書記 吉野 勝三郎

クラブ会長主題「温故知人」「明日に向かって新しい出会いを！」

国際会長 Ulrik Lauridsen 氏(デンマーク)

主題“Let Your Light Shine“

(輝かそう、あなたの光を)

アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen(台湾)

主題“Elegantly Change with New Era”

(新しい時代とともに、エレガントに変化を)

東日本区理事 佐藤重良 (甲府 21)

主題「未来に向けて今すぐ行動しよう」

関東東部部長 工藤大丈(ベイサイド)

主題「新規技術(テクノロジー)を縦横に 駆使し、効率を重んじる。

すべては、プレミアムな価値と体験を産むために」「成せば、成る」

“No challenge, No fruit”

2月の聖句

私は確信しています。死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来のものも、力あるものも、高いものも深いものも、他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできないのです。

ローマの信徒への手紙 8章 38～39節

For I am persuaded, that neither death, nor life, nor angels, nor principalities, nor things present, nor things to come, nor powers, nor height, nor depth, nor any other created thing, will be able to separate us from the love of God, which is in Christ Jesus our Lord.

Romans 8:38-39

プなどの事業を行い、多くの若者たちがそのフィリピン・ワークキャンプに参加しました。また、YMCA 退職後、CFF (Caring for the Future Foundation) という団体を立ち上げ、その活動をマレーシアにまで広げました。その活動は多くの若者を刺激し、二子石さんが離れた後も CFF はその意思を受け継ぎ、マレーシア、ミャンマーにまで広げて現在も続いています。その活躍からフィリピンでは“Otosan”(お父さん)と呼ばれ、その訃報はフィリピンにもすぐに伝えられ、2月2日に行われた二子石さんを偲ぶ会 zoom でも多くのフィリピン人が参加してくれました。

私自身も1994年の埼玉YMCAフィリピン・ワークキャンプに参加し、それがきっかけでYMCA会員、そして川越ワイズメンズクラブのチャーターメンバーとなりました。そこに至るまでを書くとともに長い文章になってしまいますので省略しますが、二子石さんがいなければ、私はYMCAやワイズメンズクラブに関わることはなかったと思います。最初、次年度以降のフィリピン・ワークキャンプをどのようにしていくか運営委員会に誘ってくださり、埼玉YMCA常議員に推薦してくれ、川越ワイズメンズクラブを立ち上げるからと誘ってくれました。それが二子石さんの手法であるとも言えませんが、とにかく何も知らない若者を信頼し、仕事を任せてくれる人でした。フィリピン・ワークフィリピン・ワークキャンプワークキャンプなり、通訳、運営をするのですが、途中から「体の具合が悪いから、リーダーをやってくれ。」と離れてしまいました。そこで私たち若者たちは四苦八苦しなごりごりしていきます。そして、それは毎年、同じことが起こり

2023年1月の統計(1月28日)

在籍9名 出席者8名(リモート含む)出席率89%

巻頭言

任せる

会長 山本剛史郎

2023年1月31日、埼玉YMCA第3代総主事の二子石章さんが召天されました。(享年 86)二子石さんは1992年10月～1998年3月の間、埼玉YMCAの総主事としてご活躍され、その間にフィリピン・ワークキャン

まず、毎年毎年、ワークキャンプの期間の半分以上を過ぎると、必ず二子石さんは体調を崩すのです。それはその後の CFF の活動を見ても良く分かります。CFF の中心は若者たちであり、二子石さん自身は最初こそリーダーシップを発揮するも必ず若者たちに運営を任せるのです。これは簡単そうに見えてとても難しい技で、二子石さんだからこそできる芸だなとつくづく感じました。

二子石さん、安らかに眠りください。



2017年3月東京新宿にて「ラジャラム兄妹を支える会」(後列左から)ラジェさん、山本、ラジャラムさん、大迫さん(前列左から)近藤さん、布施喜久子さん、布施涛雄さん、二子石さん、仲矢さん

2023年2月 例会プログラム(予告)

フィリピン、パンガシナンワイズメンズクラブとの zoom 交流会として開催します。

パンガシナンYMCAは埼玉YMCAと姉妹関係にあり、フィリピン・ワークキャンプでは多くの若者がパンガシナンを訪れ、またパンガシナンYMCAからも埼玉に多くの人が訪れ、交流を持ってきました。昨年、そのパンガシナンにワイズメンズクラブが誕生したこともあり、ぜひパンガシナンのワイズとの交流を持ちたいと思います。誰でもご自由に参加できます。参加される方は埼玉YMCA 川越センターまたは zoom で参加してください。

日時:2023年2月18日(土)15:00(午後3時)

場所:埼玉YMCA 川越センター

または zoom では以下の URL でミーティングに参加してください

<https://us06web.zoom.us/j/85753502243?pwd=bmtkL3M0b1F0dVlITXZzNDROUitZZz09>

ミーティング ID: 857 5350 2243

パスコード: 482469

通訳は利根川恵子さんにお願いますので、日本語での参加も可能です。

各自、短く自己紹介をしてもらいます。

YMCA ピンクシャツデーへの賛同される方はピンクのシャツを着るか、身に付けてください。ピンクシャツデーについては以下の URL をご参考に。

<https://www.ymcajapan.org/campaign/pinkshirtday/>

1月例会報告

吉野勝三郎

山崎純子ワイズの紹介で、山口みどり氏(大東文化大学教授)による、「イギリス留学よもやま話」と題する卓話を拝聴しました。

山口教授は、川越聖公会の会員で、ジェンダー史学に造詣の深い研究者です。2001年に、英国国立エセックス大学で博士号を取得され、2014年には、「Daughter of the Anglican Clergy」という英語の書籍を発刊されています。

Gender(性)の問題は今日、日本でも多くの議論がなされているところですが、イギリスでは、現在ほど教育が一般に普及したくない時代に、「Daughter of Clergy 牧師の娘」というのは、家庭教師として受け入れられるなど、社会的に認められた存在だったそうです。「Family Fortunes: Men and Women of the English Middle Class 1780-1850」という書籍は、「ジェンダー史発展の母」と言われるほどの名著で、日本語訳も「家族の運命」という題名で発刊されていて、山口教授は共訳者の一人だそうです。

日本では、医学系を除いて、女子に理系は人気がなく、女子学生がいかに理系に興味をもてるようにするかが、これからの国の課題であると言われています。日本語では、「欲張りな女達」という書籍が必読書とのアドバイスがありました。

不十分な報告ですが、他のクラブでも、このテーマに興味ある方は、ぜひ山口先生を講師に招いて下さい。



講師の山口みどり先生(前列右から2人目)を囲んでの記念写真

第3回東西日本区交流会

分科会③「語ろうワイズの未来」の報告

山本剛史郎

2023年2月4日(土)~5日(日)に行われた第3回東西日本区交流会に参加してきました。久しぶりの交流会であり、コロナ禍からようやく対面で会うこともできたこともあり、会う人々みんなに「お久しぶりです。」と声をかけ、かけられました。川越クラブからも5名の参加者(利

根川太郎メン、利根川恵子メン、生川美樹メン、吉田公代メン、山本剛史郎）があり、DBCである北九州クラブとの交流の機会を持つことができ、本当に楽しい交流会となりました。

さて、その交流会2日目には分科会が行われ、①「ぶら神戸」、②「Y's Song Fest 一緒に歌いましょう」、③「語ろうワイズの未来」から選ぶのですが、私は佐藤東日本区理事からの依頼で、分科会③「語ろうワイズの未来」のパネリストとして話す機会が与えられました。東西日本区の佐藤重良理事、田上 正理事、パネリストとして牧野篤文メン（京都トップス）、丹吾 礼メン（大阪土佐堀）、伊藤慎太郎メン（八代）、深尾香子メン（東京多摩みなみ）、佐藤節子メン（厚木）、そして山本剛史郎（川越）の6人でした。最初はそれぞれの立場からワイズメンズクラブに入会したきっかけを話しましたが、そこでは「入会に誘ってくれる人」の存在が重要だという話になりました。私自身は1994年に埼玉YMCAにフィリピン・ワークキャンプに参加したことをきっかけに当時の二子石章埼玉YMCA総主事の存在が大きかったと言えます。巻頭言でも書きましたが二子石さんは本当に人を巻き込むことが上手い方でした。「若者を誘う」というよりも「若者に任せる」といった方法で、いつの間にかYMCA会員になり、1998年川越ワイズメンズクラブの設立時にチャーターメンバーとして入会していました。他のパネリストの方々もリーダーからYMCAに入職した、何かボランティア活動をやりたいのだけれども何をやれば良いのか分からない時に声を掛けられた、沖縄に行くことができる、とにかく入会しろと言われたなど理由は様々ですが、そこには誘ってくれた人がいたということが重要だと思いました。

また、ワイズメンズクラブの中でも段階（会員→クラブ役員→クラブ書記→クラブ会長→部役員……）を設けて、少しずつステップアップしてゆく、させてゆくなど組織的に成長プログラムを持っているというクラブがありました。また、ボランティア活動には様々な種類があり、例えば「作業ボランティア」と「運営ボランティア」という2種類があるなど、それぞれのワイズに適材適所、役割を与えることなどの話がありました。

すべては書ききれないのですが、最後に「面白い所に人は集まる」、ワイズの活動は今までやってきた「報告」ではなく、これから何をやるのか、何をやりたいのか「予定」を外部的に向けて発信し、その予定に向かって人を集めることが大切だと思いました。それはクラブの人数、大きさ、年齢を理由にできないことを探すのではなく、今、できることを探し、考えていき、それを発信し続けることが、まさに今回のテーマ「語ろうワイズの未来」だと思いました。



第3回東・西日本区交流会に参加して

吉田公代

2月4日、5日神戸にて第3回東西日本区交流会が開催されました。前回の第2回からの開催から6年越しの開催でした。前は御殿場の東山荘、今回はANAクラウンプラザホテルと神戸らしい場所での開催でした。

集まった人数は東日本区122名西日本区310名と盛会となりました。

川越クラブは「何処でも出張販売」で、芋菓子50個とコーヒー8個を皆様の善意の賜物で完売致しました。（完売できてよかったーよ）

懇親会では大きなホールで国際色豊かなパフォーマンスと美味しい中華料理のサーブでの提供で盛り上がりました。

コロナ禍の中での対面での大会は久しぶりなので、時の流れがもたらす現実的な変化を目の当たりにして、自分のワイズメンズの在籍を思い知りました。次の日は神戸市内観光で、街を歩き廻りました。本当に震災があったの？と疑ってしまうほど、モダンな街でした。歩いているときはパンの焼いたにおいと甘いスイーツのおいがしていました。これが神戸カーと思っただけで疲れた足に活を入れていました。

私と一緒に付き合っていて頂いた生川さん、ありがとう。おかげで楽しい大会の思い出になりました。



第3回東西日本区交流会に参加して

利根川太郎

令和5年2月4日(土)～5日(日)に神戸 ANA クラウンプラザホテルで開催された、第3回東西日本区交流会に参加いたしました。川越クラブからは、山本会長はじめ5名の参加でした。それぞれご参加の皆さんからご報告があると思いますので、私からは東日本区国際・交流事業主任として関わった「DBC プロポーズ大作戦」と「DBC 締結式」について報告します。

「DBC プロポーズ大作戦」は、懇親会の冒頭に企画されていたプログラムです。西日本区の小野勅紘さんが熱心に計画され、皆様の座席を、何とか新しいクラブ同士の出会いがあるように苦心して工夫されました。聞くところによると、二日間ほとんど徹夜でご準備なされたようです。気付きにくいところですが、バックヤードではこんな熱い思いがあったことをお知らせいたします。

「DBC 締結式」は京都トップスクラブと大阪茨木クラブの DBC 締結と、千葉ウエストクラブ・東京西クラブ・京都ウエストクラブ・大阪西クラブ・神戸西クラブ・熊本にしクラブ、6クラブによる西連合へキサゴン DBC 締結が滞りなく行われました。ウィズコロナの時代ですが、今後もより一層、他クラブとの交流を深めて DBC、IBC を盛り上げていただけたらと思いました。

以上簡単ですが報告とします。



第3回東西日本区交流会に参加して

生川美樹

2月4日、5日、ANA クラウンプラザホテル神戸で開催された、東西日本区交流会に、参加させていただきました。このような大きなイベントに参加するのは、ワイズメンになって、初めての体験でした。

まず、第一のミッションである、川越の芋菓子販売を、東西日本区交流会の会場入り口のすぐ脇という、非常に恵まれた位置で行いました。当日は、利根川夫妻にご準備～販売をスタートしていただき、山本さん、吉田さんと私で、懇親会が開始するまで販売しました。嬉しいことに、皆さんお待ちかねの様子で、飛ぶように売れて行きました。川越ワイズが、芋菓子販売することを皆さんが覚えてくださり、「これ美味しいのよね～」と、お話しされながら、手に取ってくださり、心からありがたいなと思いました。

懇親会は、ホテルの大広間に、400名以上もの参加者が一堂に会するという、以前は当たり前の風景でしたが、久しぶりに知らない人と、マスクを外して、会食をするということに、ややドキドキしつつも、同じテーブルになった方たちとお話する機会を得ることが出来ました。

コロナ渦の中、盛りだくさんのプログラムを準備された関係者の皆様のご苦勞は、いかばかりであったかと思います。Zoom を使って、練習を積み重ねて準備された、フラダンスは、とても素晴らしい踊りでした。そして、私が今回の交流会で一番うれしかったことは、若輩者ながら、委員をさせていただいている、YMI ワールドの日本語版翻訳グループの田尻委員長と初めてお会いすることが出来たことです。やはり、実際に顔を合わせて相手を知ることは、大事なことだなと感じました。



第3回東西交流会に参加して

利根川恵子

とにかく、久しぶりに対面で多くの方々にお目にかかることができ、直接の笑顔のご挨拶や近況報告などがどれほど温かく心に残るものであるかということを実感した神戸の3日間でした。

一般的な感想はここまでとして、今回の交流会における私の役目は、懇親会の開会あいさつ、アジア太平洋

地域 100 周年記念事業紹介の司会と「食、文化と伝統～e-Cookbook の作成～」の報告、分科会 “SongFest～一緒に歌いましょう”での北九州クラブ・宮川詩麻さんの作詞曲「君へ」の応援、そして理事懇談会への出席でした。

懇親会では私が開会のあいさつ、太郎さんが中締めと夫婦のそろい踏みとなり、ちょっと出過ぎた感じでしたが、立场上仕方のないこととご了解のうえ、お許しいただきたいと思えます。

アジア太平洋地域 100 周年記念事業 3 本の紹介は、ワイズメンズクラブが国際とつながっているということを実感していただくよい機会と捉え、力を込めて司会を務めました。私の分担では、「食、文化と伝統～e-Cookbook の作成～」事業をスライドでご説明しました。大野勉・アジア太平洋地域直前会長が、マカティ YMCA とアジア太平洋地域とのパートナーシップによるマカティ YMCA ソーラーパネル設置プロジェクトについて、浅羽俊一郎・埼玉クラブ会長が SongFest (ソングブック作成事業) についてそれぞれ概要を説明しました。最後に、フィリピン・マニラ・ダウンタウン・クラブのロメオ・リムジンさん作曲の、新しいワイズソングとなるべき “Y’s Men with the World” を全員で合唱した時には、うれしさで鳥肌が立つほどでした。100 周年記念式典まであと一月となりました。3 つのプロジェクトが世界に認められる日が待たれます。

DBC・北九州クラブの宮川さんもお元気にご活躍で、ご自身が製作なさったアニメ「いのちをつなぐ」の主題歌「君へ」がソングブックに掲載され、分科会でみなが歌うことになり、ごあいさつの場面もあって、私たちも友人として誇らしく歌いました。

理事懇談会は東西日本区の元理事、現理事、次期・次次期理事まで 26 名が参加して、ワイズの未来を語りました。短時間の会合でしたので、具体的な方策までは編み出せませんが、東西の理事がこれほど多く一同に会することは初めてでしたので、今後も何か協力してできることがあるのではと期待のうちに会の幕を閉じました。

最終日にスーツケースをひいての坂の上り下りに腰が痛くなりましたが、様々な出会いと有意義な出来事に恵まれて、痛みよりも喜びの大きい 3 日でした。



国際の舞台から “Keiko’s Monthly Briefing of YMI/ASP”

利根川恵子

国際の舞台から ～国際選挙～

国際選挙について国際憲法のガイドライン 409 に「クラブが国際レベルの案件に対する投票権を持つためには、クラブは、9 月 30 日以前にガイドライン 410 に定められたとおりに活動中(会員数 100%の区、地域、国際会費を直近の過去 3 半期を通して支払っていること)であり、直前 3 半期において最小限 15 人の会員を有しており、かつ国際事務局に会長について定められた詳細が記録されていなければならない。」とあります。

残念ながら川越クラブは会員数が 15 人以下であるので、選挙権がありません。ただし、会員数については、救済措置があり、ガイドライン 411 で、「(12 月 31 日現在で)チャーター後少なくとも 25 年が経過しており、会員数が 5 人から 14 人のクラブについては、国際選挙の投票のみを目的とし、ガイドライン 409 での最小必要会員数規定の免除の要求を区理事(写しを国際事務局)に対して提出することができる。」とあります。川越クラブも今年で 25 周年を迎えますので、来年度からはガイドライン 409 の申請を行い、区理事が認めれば投票権を得ることができます。

ちなみに今年度の国際選挙では、2023-2024 年度における次期国際会長、次期国際会計、次期アジア太平洋地域会長の選挙が行われ、次期国際会長には現アジア太平洋地域会長のチャーミング・シェンさん、国際会計にはデンマークのエリック・ブルームさん、次期アジア太平洋地域会長には香港のジョアン・ウォンさんが選出されました。私の後の地域会長も女性が選ばれ、ジェンダー・バランスを訴える私にとってはうれしい結果となりました。女性パワー全開で、アジア太平洋地域の発展に尽くしてまいりたいと思えますので、クラブのみなさまの応援をよろしくお願ひいたします。



YMCA報告

河合今日子

<YMCA Future Engineer>

昨年度から、アマゾンジャパンと協働でプログラミング教育の学びの場を設けています。

今回、プログラミングクラスを終え、上尾 FC ツアー(工場見学)を実施しました。

その様子が、掲載されましたのでお知らせいたします。

ブログ記事:

<https://www.aboutamazon.jp/news/community-engagement/amazon-cyber-robotics-challenge-students-tour-amazon-fc>

YouTube

:

<https://www.youtube.com/watch?v=js3-1hE8yo4>

クラスでは、Amazon 内のロボットを動かすプログラミングをしていました。上尾FC(工場)で実際に動くロボットに釘付けになり「思っていたよりロボットが大きい」「すごい!!」と興奮気味に見学していました。画面上の中のロボットではなく、リアルなものとして理解できたように思います。

プログラミングやテクノロジーをより身近に感じ、一人ひとりの可能性が広がりよくなっていくことを願い、今後もアマゾンジャパンと協働でプログラムを進めていきたいと思えます。

文責 木下

<埼玉 YMCA 創立50周年式典のご案内>

日時:2023 年 3 月21 日(火・祝)

午後 2 時~4 時 30 分(開場 13 時 30 分)

会場:日本バプテスト浦和キリスト教会

(最寄駅JR 北浦和)

次第:

第一部 礼拝

司会 衣笠輝夫氏(埼玉YMCA理事)

奨励 上林順一郎牧師

第二部 交流会・感謝会

司会 池田美知子氏(埼玉YMCA評議員)

挨拶 吉野勝三郎氏(埼玉YMCA評議員会会長)

(編集後記)

東西日本区交流会が多くの参加者を得て、盛大に開催され、心に残る出会いがあり、今年度のクラブ会長主題「温故知人」「明日に向かって新しい出会いを!」の実践の機会となったことを知り、大変嬉しく思います。

川越クラブは、国内はもとより、海外との交流も盛んです。2月はフィリピンと、3月はIBCのアメリカ、セーラムクラブとの zoom による交流会が予定されています。創立25周年を迎える私達のクラブは、次期アジア太平洋地区会長の利根川恵子ワイズを擁し、次次期には関東東部の部長も我がクラブのメンバーが引き受ける予定です。川越クラブの活動がますます多くの実りをもたらすことを期待します。

(K. Y.)